

国連における「核兵器のない世界に向けた共通のロードマップ構築のための取組」決議案

令和4年11月1日
外務省軍備管理軍縮課

採決結果

- 10月31日、国連総会第一委員会で採択(賛成139(共同提案国52(米を含む))、反対6、棄権31)。12月上旬、国連総会本会議で採択予定。
- 1994年以来、「核兵器のない世界」の実現に向けた現実的な道筋を示す核兵器廃絶決議案を毎年提出。
- 本年は、8月のNPT運用検討会議の議論を踏まえ、我が国として、「核兵器のない世界」を実現する上での現実的かつ実践的な取組の方向性を示す必要があるとの考えの下、同会議で岸田総理が提唱した「ヒロシマ・アクション・プラン」を基本としつつ、同会議の最終成果文書案の文言等も活用。

決議案の主要要素

- 「核兵器のない世界」の実現という共通目標を再確認
 - 広島・長崎への原爆投下から77年を想起
 - NPTは国際的体制の礎石。第6条を含む条約の完全なかつ継続的な履行に向けた決意を再確認
 - 過去のNPT運用検討会議の最終文書におけるコミットメントの履行の重要性を再確認
 - 第10回NPT運用検討会議の最終成果文書のコンセンサス採択を妨げた1か国の決定に対して遺憾の意を表明。軍縮・不拡散及び原子力の平和的利用を前進させる有益な基礎となる同運用検討会議での議論及び最終成果文書案に立脚して2026年のNPT運用検討会議に向けて前進することの重要性を強調
 - ウクライナの状況含め国際安全保障環境の悪化に深い懸念。いくつかの核兵器国が核戦力の急速な量的拡大や質的改良を行っていること等に懸念を表明
 - 新STARTの延長を歓迎。核廃絶に向けた対話に関する核兵器国の特別な責任を再確認
 - 5核兵器国首脳共同宣言のコミットメントの履行に向けた具体的措置の必要性を確認
 - ウクライナのNPT加入に当たっての安全保証に関する覚書(ブダペスト覚書)を含む安全保証の遵守の重要性を再確認
 - 中東非大量破壊兵器地帯設立への支持の再確認
 - 核兵器使用の非人道的な結末に深い懸念を改めて表明。指導者や若者等の広島・長崎訪問を歓迎
 - 核兵器禁止条約の採択を認識。条約の発効・第一回締約国会合開催に留意
 - 不拡散、原子力の平和的利用、原子力安全の重要性を再確認
-
- 核兵器が二度と使用されないこと及び核兵器使用に関する扇動的な表現の使用を自制することを要請
 - 核戦力・能力に関する具体的データの情報提供(含:核兵器用核分裂性物質(FM)の生産状況)等の透明性向上措置を要請
 - 世界全体の核兵器数の減少傾向の維持の重要性を強調。核兵器国に対して核兵器の更なる削減を要請
 - 包括的核実験禁止条約(CTBT)の早期署名・批准の要請と同条約の発効に向けた準備への支援の重要性を強調
 - 核兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT)即時交渉開始及びFM生産モラトリアムの宣言を維持する又は新たに行うことを要請
 - 核リスク低減に係る有効な措置の実施を核兵器国に要請
 - 北朝鮮の関連安保理決議に従った全ての核兵器、既存の核計画、その他すべての既存の大量破壊兵器及び弾道ミサイル計画の完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な放棄の実現へのコミットメント及び全ての加盟国による関連安保理決議の完全な履行の責務を再確認。北朝鮮に対し、NPT及びIAEA保障措置の完全な遵守への早期復帰を要請。
 - NPTの目標達成に有効な手段として、核軍縮・不拡散教育に向けた取組を要請(含:「被爆者」への言及)

前文

本文